

東京工芸大学同窓会 会報

# ひろば

Vol.143

HIROBA

発行日：2021.12.1 発行人：安達 洋次郎

〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5 TEL & FAX 03-5371-2732 (事務局)  
<http://www.kougei-dousoukai.jp> [dousoukai@kougei-dousoukai.jp](mailto:dousoukai@kougei-dousoukai.jp) (受信専用)

安達新会長独占インタビュー

副会長の抱負

定時会員総会

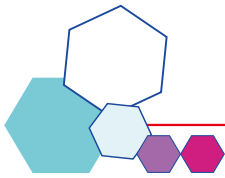
新体制・役員一覧

同窓会会長賞・奨学金授与式

予算書・決算書

ひろばのページ

フォックス・タルボット賞募集



# 安達 洋次郎 新会長インタビュー

## 次の世代に同窓会の意義・役割を伝えていくことを使命に……

### ——まずは略歴についてお聞かせ下さい。

**安達** 私は高校の時から写真が好きでした。高校の化学の授業に写真というカテゴリーがあって、化学室に暗室があり、その暗室のなかで画像が浮き上がってくるという面白い体験をしたことが写真が好きになるきっかけでした。高校の図書館で見つけた写真関連の学術書「共立出版」を見つけ借り出して興味深く読んだり調べたり、著者が全て大学の先生たちでしたので、必然と本学に入学した次第です。

卒業後は資生堂に入社し、非常に恵まれた環境でカメラマンとして仕事ことができました。60年代～80年代と右肩上がりの経済成長と共に広告業界が急成長した時代でした。宣伝部内で多くの優秀なクリエイターにしごかれながら広告写真人としてそれなりに成長できたと感謝しています。資生堂には19年間在籍し、その後独立しました。

### ——同窓会との関わりは？

**安達** 私が日本広告写真家協会の会長を務めていたとき、プロ写真家3団体の情報交換の場があり、日本写真家協会(田沼会長)、日本写真文化協会(奥田会長)との定期的な会合をしていましたが、その時の会長3人が本学出身だったのです。両先輩から理事に推挙され、2017年より副会長になりました。



田沼会長の下、同窓会を盛り上げようと「卒展×同窓のつどい」を企画・計画しました。これまでの同窓会は写真に関わる方が中心になっていたので「もっと輪を広げよう」ということになって、卒展で他

の学科の卒業生達に積極的に声を掛けて同窓会の輪を広げました。軽食とドリンクを用意して「気軽に来て下さい」と呼びかけ、同窓

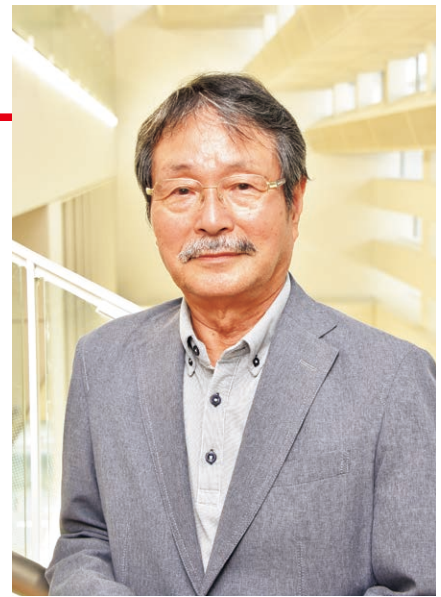
生同士、大いに盛り上がりました。事業として今後も続けていきたいですね。

### ——会長就任の依頼を受けたときは？

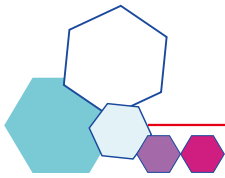
**安達** 最初に会長のお話をいただいたときに「務まるかな？」と思いましたが、私の役目としては、次の世代にこの同窓会の意義・役割を伝えていかなければならないと思っています。2023年に本学の100周年、2026年が同窓会の100周年を迎えますが、それも若い方々を中心に総力を挙げて取り組めば、何ら問題はないと確信しています。とにかく、これからは若い力を信じてそれを結集して進めていくべきだと思っています。

### ——今後のビジョンについてお聞かせ下さい。

**安達** ビジョンという大上段に構えたものではありませんが、少なくとも年に3～4回ぐらいはみんなが集まって親睦を深め、先輩後輩、そして横の繋がりが広がってくれればと思っています。私たちの世代で、自分の卒業した大学が今どうなっているか知らない方もいます。ですから、大学の今を知っていただき、そして会員相互の融和を図っていけば、それだけで元気になれると思います。元気ある同窓会は、大学の良い応援団になると信じています。皆さん、同窓会を盛り上げていきましょう。よろしくお願い致します。







## 新体制・副会長の抱負

### 田村 寛 副会長

此の度副会長に選任されました田村寛です。

東京工芸大学同窓会は、1926年3月校名を小西写真専門学校から東京写真専門学校と変更した第1回卒業生より東京写真学士会として産声を上げ、早100年を迎えようとしています。戦前戦後の激動の荒波を乗り越り同窓会は着実に発展してまいりました。

先輩方々の努力の賜物です！

歴史と伝統ある会の副会長の重席を担うことに身の引き締まる思いもありますが皆様と力を合わせより発展したいと望んでいます。

開学、同窓会結成100年を皆様と共に盛大に祝おうではありませんか！



### 進藤 博信 副会長

今期、副会長を拝命しました、進藤博信でございます。昭和47年卒業の、47期です。

卒業後、広告写真家を経て、現在はアマナグループのCEOを務めております。卒業してから約半世紀が経ちますが、現在に至るまでのわたくしの礎を築いてくれたのが、本学であったといえると思います。

お声がけいただき、同窓会運営に携わらせて

いただくことで、ご恩返しができること、大変喜んでおります。

これまでにないスピード感で変化が訪れている時代に、ビジネスの視点から、皆様のお役に立てるよう、尽力させていただきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。



### 内藤 明 副会長

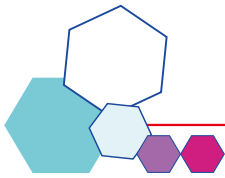
令和3年度定時会員総会におきまして副会長を拝命いたしました内藤でございます。私は昭和47年3月に東京写真大学短期大学部を卒業しましたので、47期になります。4年前の平成29年度に引き続き副会長を仰せつかりました。安達会長のもとに任期の2年間を皆様とご一緒に励みますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は前任期中、主に会則の改定検討につきまして、田沼前会長をはじめ役員の方々と考えてまいりました。そして今年度から新しい会則のもとで

進めることができましたことは、会員、皆様方のご理解の賜物でございます。厚く御礼を申し上げます。

私共の同窓会の第一期生は1926年の卒業からですので、今年は96期生となり、同窓会創立100年まであと数年となりました。こうした中、これからも同窓会の運営に微力ながら、尽力してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。





# 令和3年度定時会員総会開催

東京工芸大学同窓会の令和3年度定時会員総会が7月13日、東京・中野の中野サンプラザで開催、コロナ禍により出席人数は少なかったものの、予定通りの議事が採決されました。

冒頭、司会の川名理事長から、40年間続いた古いままの会則から脱皮し、この5月1日に新しい会則でスタート、今回が第1回目の会員による総会となることが報告されました。

議事に先立ち、田沼会長は「この同窓会は現在95周年になっています。長老といって良いぐらいの年代が経っています。同窓会というのは、学校と共にあり、自分の出た母校が隆盛であることは心強いものです。それには同窓生として応援していく気持ちがあって欲しいと願っていますし、私もそうしたことを考えながら会長を21年務めてきました。私たちが力となって母校を支え、仲間同士でより良い社会を作って欲しいと願っています。本日は慎重審議、よろしくお願い致します」と挨拶しました。

この後、議長に大澤副会長を推して議事に入り、第1号議案の令和2年度事業報告・決算報告が行われ、承認されました。続いて第2号議案の任期



満了に伴う役員改選が行われ、執行役員候補者、理事候補者、代表委員候補者が大澤議長から報告され、満場一致で承認されました。引き続き、報告事項に移り、令和3年度事業計画・予算案が報告され、その他、フォックス・タルボット賞活性化のため50万円/年の支援について検討することの後、同窓会会長賞、同窓会奨学金について、その対象者が報告されました。この後、任期満了に伴い退任される役員が紹介され、1人ひとり謝辞が述べられました。



続いて、役員交代セレモニーが行われ、田沼会長への花束贈呈と挨拶、そして最後に安達新会長の抱負で会を締めくくりました。

## 役員交代セレモニー

今回の総会をもって、21年という長きに渡って会長を務められた田沼武能氏(24期)から、安達洋次郎氏(39期)に会長職をバトンタッチすることになりました。また、大澤登副会長をはじめ、多くの役員の方々が、任期満了などにより同窓会役員から退任されることになりました。これまで同窓会の運営にご尽力頂きましてありがとうございました。役員は卒業という形になりますが、これからも引き続き、会員として同窓会を盛り立てて頂きたい、よろしくお願い致します。総会終了後、感謝の気持ちを込めて「役員交代セレモニー」が行われました。

○退任される理事の方々(敬称略)

会長：田沼 武能(24期)

副会長：大澤 登(30期)

理事長：川名 晴美(34期)



安達新会長



吉野学長

専務理事：佐土原 一浩(36期)

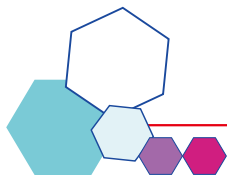
会計監事：佐藤 研一

理事：清宮 輝(33期)・小池 恒裕(33期)・八方 一治(34期)・畑 鐵彦(41期)・柴田 さやか(83期)

# 新役員決定

東京工芸大学同窓会役員 任期 令和3年5月～令和5年4月まで

役 職	氏名	卒業期	氏名	卒業期	氏名	卒業期
名誉会長	吉野 弘章(学長)					
名誉顧問	田沼 武能	24期				
顧 問	奥田 昇	28期	細江 英公	29期	大澤 登	30期
	堀内 陽二	32期	川名 晴美	34期		
会 長	安達 洋次郎	39期				
副会長	田村 寛	42期	進藤 博信	47期	内藤 明	47期
理事長						
専務理事	立川 宏司	42期	上田 耕一郎	75期		
常務理事	山口 敏郎	56期	三上 賢	61期	宮崎 洋	62期
	勝倉 峻太	75期	岡本(石井) 久美子	76期		
	小川 誠	77期				
会計監事	山本 晃	41期				
理 事	内田 勲	39期	岡村 征夫	41期	小山 昌男	42期
	駕田 毅	42期	小林 俊郎	44期		
	山口 規子	61期	熊切 大輔	64期	有馬 秀樹	65期
	工藤 洋司	73期	小宮 広嗣	73期	新城 敦	73期
	磯田 正和	79期	石井 清士	82期	岸 剛史	83期
	高島 圭史	86期	菅泉 亜少子	88期	長田 夏実	89期
	宮崎 和博(大学事務局長)		栗原 昌美(中野キャンパス事務部長)			
	飯田 修(中野キャンパス事務部学生課長心得)					
代表委員	山田 仁	38期	新藤 健一	39期	鈴木 克明	40期
	川端 秀樹	41期	上條 正名	43期	小関 雅章	51期
	木下 恵修	70期	坂本 佳子	81期	川島 崇志	83期
	大澤 暁空	84期	伊藤 哲史	85期	篠田 優	88期
	影山 あやの	89期	田村 旬平	90期	蛭田 真渚	90期
	後藤 祐佳	92期	細野 彩音	93期	佐藤 渚彩	93期
	関田 悠登	94期	瀬沼 苑子	95期	澤田 直幸	95期
	涌井 謙	95期	杉原 賢紀	96期	森 まどか	96期
	星 早綾	96期	高松 千愛里	96期	佐宗 祐美	96期
	木内 康晴	96期	中林 優香	96期	佐野 匠	96期
支 部 長	小田 俊春	北海道50期	村田 明	岩手34期	阿部 貴彦	宮城61期
	田中 信弘	山形47期	伊藤 正春	福島44期	細谷 治男	栃木43期
	富野 憲治	群馬46期	岡田 康右	埼玉48期	高野 光弘	神奈川48期
	磯 武	山梨40期	小林 俊郎	新潟44期	松野 崇	静岡42期
	野瀬 陽一	石川50期	野崎 博	富山44期	磯谷 武美	東海36期
	金居 光由	関西54期	奥谷 収吉	香川46期	西川 義章	高知55期
	堤 隆志	全九州34期	一楽 和夫	沖縄51期	韓 承卓	韓国73期



# 2021年度 同窓会会長賞・奨学金

2021年度の同窓会会長賞と奨学金が授与されました。会長賞は芸術学部4年次生が対象で、顕著な作品を制作した学生、将来有望であると認められる作品を制作中の学生へ贈られます。また奨学金は修学継続の意志が強固である芸術学部3、

4年次生に対して支給されます。今年度も今後の活躍が期待される学生の顔ぶれが揃いました。

授与式は、当初は中野サンプラザでの総会後を予定していましたが、緊急事態宣言下のため中止とし、後日学内で執り行われました。

## 2021年度東京工芸大学同窓会会長賞

学科	学年	氏名
写真学科	4年	小林 菜奈子
映像学科	4年	「見た目では判断できない障がい者」制作チーム 代表者 小池 夏海
デザイン学科	4年	笹嶋 高杜
	4年	野口 陽向
インタラクティブメディア学科	4年	錦織 健
アニメーション学科	4年	「バーチャル中野キャンパス」制作チーム 代表者 濱谷 豪
マンガ学科	4年	田中 幸
ゲーム学科	4年	松本 和樹

## 2021年度東京工芸大学同窓会芸術学研究科奨学金

専攻	学年	氏名
メディアアート専攻博士前期課程		該当者なし

## 2021年度東京工芸大学同窓会芸術学部奨学金

学科	学年	氏名
写真学科	3年	渡邊 結愛
映像学科	3年	島野 友理佳
デザイン学科	3年	南波 初実
	3年	矢部 萌々花
インタラクティブメディア学科	3年	前原 優仁
アニメーション学科	3年	ZHOU XIAOYU (シュウ コウウ)
マンガ学科	4年	市川 浩巳
ゲーム学科		出願なし

## 受賞者 喜びの言葉

### 小林菜奈子(写真学科4年)

東京工芸大学に入学しての4年間、写真というメディアを通して沢山の新しい事柄に挑戦する機会をいただきました。作品制作を行って行く中で、自分自身を見つめ直すことや、写真学科の先生方や友人と共に切磋琢磨していくことは、自分の人生を豊かにしてくれる大変有意義な時間であると実感しています。そしてこの度は同窓会会長賞というかたちで制作活動を評価していただいたことがとても嬉しいです。より一層の成長を目指し、これからも写真を撮り続けていきます。



### 小池夏海(映像学科4年)

この度は素晴らしい賞を受賞させて頂き、ありがとうございます。また、今回の受賞のきっかけとなったACジャパン広告学生賞提出作品の映像制作と一緒に携わってくれた役者、先輩、同期の計11人にも感謝を伝えたいです。ありがとうございました。この作品は、見た目では判断できない障がい者をテーマにした作品であり、私自身の実体験を元にした映像です。この作品を見て少しでも今回のテーマに対する理解が広まってくれたらなと考え作品を制作しておりました。今回の評価を自信に繋げ、これからも映像制作に精進して参ります。





## 笹嶋高杜(デザイン学科4年)

この度は同窓会会長賞に選んでいただきありがとうございます。サッカー一筋だった私にとってデザインという道は新たな挑戦でしたが、高い志を持って日々精進して来た過程を評価していただけたことを嬉しく思います。ここまでこれたのは支えてくれた両親や指導して下さった先生、そして何より良き仲間にも恵まれたおかげです。これからも努力を怠ることなく、デザインとサッカー選手の二刀流を目指して更に高みへ行けるように精進していきたいと思っております。応援よろしくお願いします。



## 野口陽向(デザイン学科4年)

この度は大変貴重な賞をいただき、ありがとうございます。私にとってこの賞を頂けたことは、思いも寄らぬ幸運でした。一年時、二年時と趣味的に制作を行っていた私にとってデザインに出会えたことは、人生を豊かにするきっかけでした。人のことを思い、謙虚に行う営みは、決して廃れることのない学問であり、職業であると考えます。これから先、私の前に様々な困難が立ちまはかることと思いますが、この賞を励みに、工芸大を誇りに、躍動し、日々精進してゆきます。同窓会の皆様ならびに今まで支えて下さった先生方、本当にありがとうございました。



## 錦織 健(インタラクティブメディア学科4年)

このたびは素晴らしい賞を頂き、ありがとうございます。私がこれまでにやってきた活動を評価して頂きましたことを嬉しく思います。新型コロナウイルスの流行により、制作の視点が変化しました。リアル環境からバーチャル環境へと重点が変化し、これまでのリアルの空気感をどのように再現するのか、逆にそのギャップをメリットに変える方法はないのかということテーマに空間拡張について研究を続けています。今後も研究を続けていき、クリエイティブで社会をよりよいものへと改革できるよう、また一人でも笑顔にできるよう、様々な視点から制作のプロデュースができるよう精進してまいります。



## 濱谷 豪(アニメーション学科4年)

この度、同窓会会長賞に選んでいただいたことを光栄に思います。橋本ゼミ展「バーチャル中野キャンパス」は橋本研究室の学生8名が力を合わせて制作した作品です。2020年度はコロナウイルスの影響で、我々学生たちはキャンパスに行くことがほぼできませんでした。キャンパスに行きたい! キャンパスで集まりたい! というみんなの気持ちがこの企画のはじまりでした。コロナ禍で難しい状況の中、ゼミ展を成功させることができたのは支えてくれた仲間や先生、そして当日の上映会に参加して下さった皆様のおかげです。ありがとうございました。



## 田中 宰(マンガ学科4年)

私は現在YouTubeチャンネルを所有していて、「電柱治」という名前で活動しています。良ければ登録をお願いします!! この活動の目標は「漫画を用いて動画を作成しYouTubeの再生数を伸ばす」、そして「収益を得る」ところまで持っていくことです(もしかしたら、すでに達成しているかもしれません)。要するに、「漫画で食っていく」ための様々なルートを模索しています。この先漫画家の在り方は益々オルタナティブになります。全員が、何かしらの形で今の活動を続けながら食っていける世界を目指したいです。



## 松本和樹(ゲーム学科4年)

この度は同窓会会長賞を頂き誠にありがとうございます。受賞の知らせを頂いた際には、思いがけないことで驚くと同時に大変嬉しく思いました。自身の活動がこのような評価して頂けたのは、周りの方々の助けがあったからこそだと実感しております。この場をお借りして、指導して下さった先生、相談に乗ってくれたゼミの仲間、そして非常によく面倒を見て頂いた中井理貴先輩に心よりお礼申し上げます。今回の受賞を励みに、これからの研究活動により一層精進して参ります。



令和2年度(2020年)東京工芸大学同窓会決算書

<自: 令和2年5月1日~至: 令和3年4月30日>

【一般会計】 (単位: 円)

Income statement table for the general account of the 2020 fiscal year. It lists revenue items such as membership fees, interest, and grants, totaling 37,389,636 yen.

支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement table for the general account of the 2020 fiscal year. It details expenses for various committees and administrative costs, totaling 37,389,636 yen.

【特別会計・総務委員会会計】 (単位: 円)

Income statement for the Special Account - General Affairs Committee. Shows revenue from carryovers and general account transfers, totaling 4,712,682 yen.

支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement for the Special Account - General Affairs Committee. Lists expenses for committee operations, totaling 300,000 yen.

総務委員会会計 令和3年度へ繰越 (単位: 円)

Summary table for the General Affairs Committee account, showing a carryover of 4,412,682 yen to the 2021 fiscal year.

【残高証明書発行手数料用口座】 (単位: 円)

Income statement for the fee account. Shows revenue from fees, totaling 7,427 yen.

支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement for the fee account. Lists the cost of issuing certificates, totaling 440 yen.

三井住友銀行 残高証明書発行用口座 令和3年度へ繰越 (単位: 円)

Summary table for the fee account, showing a carryover of 6,985 yen to the 2021 fiscal year.

収入の部 (単位: 円)

Income statement for the asset account. Shows revenue from carryovers and interest, totaling 6,235 yen.

支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement for the asset account. Lists the cost of issuing certificates, totaling 550 yen.

三菱UFJ銀行 残高証明書発行用口座 令和3年度へ繰越 (単位: 円)

Summary table for the asset account, showing a carryover of 5,685 yen to the 2021 fiscal year.

令和3年度(2021年)東京工芸大学同窓会予算書

<自: 令和3年5月1日~至: 令和4年4月30日>

【一般会計】 (単位: 円)

Income statement table for the general account of the 2021 fiscal year. It lists revenue items such as membership fees, interest, and grants, totaling 39,961,050 yen.

支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement table for the general account of the 2021 fiscal year. It details expenses for various committees and administrative costs, totaling 39,961,050 yen.

【特別会計・総務委員会会計】 (単位: 円)

Income statement for the Special Account - General Affairs Committee. Shows revenue from carryovers and general account transfers, totaling 4,756,007 yen.

支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement for the Special Account - General Affairs Committee. Lists expenses for committee operations, totaling 6,710 yen.

総務委員会会計 次年度へ繰越 (単位: 円)

Summary table for the General Affairs Committee account, showing a carryover of 4,705,907 yen to the 2022 fiscal year.

【残高証明書発行手数料用口座】 (単位: 円)

Income statement for the fee account. Shows revenue from fees, totaling 7,427 yen.

支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement for the fee account. Lists the cost of issuing certificates, totaling 440 yen.

三井住友銀行 残高証明書発行用口座 次年度へ繰越 (単位: 円)

Summary table for the fee account, showing a carryover of 6,987 yen to the 2022 fiscal year.

収入の部 (単位: 円)

Income statement for the asset account. Shows revenue from carryovers and interest, totaling 6,235 yen.

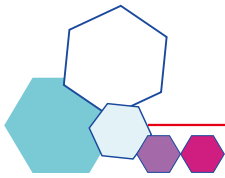
支出の部 (単位: 円)

Expenditure statement for the asset account. Lists the cost of issuing certificates, totaling 550 yen.

三菱UFJ銀行 残高証明書発行用口座 次年度へ繰越 (単位: 円)

Summary table for the asset account, showing a carryover of 5,685 yen to the 2022 fiscal year.





# 第43回 2022フォックス・タルボット賞 募集案内

- ・ 奨励金がアップしました。
- ・ 奨励賞(写真を用いた新たな表現にチャレンジした作品)を新設しました。

主催：東京工芸大学  
協賛：東京工芸大学同窓会

フォックス・タルボット賞は、新しい写真表現への挑戦を奨励するとともに、若い写真家の登竜門としての機能を果たすことを目的として、東京工芸大学が1979年に創設しました。

本賞の名称は、イギリスのフォックス・タルボット美術館の協力を得て、近代的な写真システムの原点であるネガ・ポジ法の発明者ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット(William Henry Fox Talbot, 1800-77)の偉業を讃え、その名を冠しています。

本学は、日本で最初の写真専門の高等教育機関として1923年に創立した長い歴史と伝統をもっています。本学の学生および卒業生の皆さんが、このフォックス・タルボット賞に応募し、受賞されることは、これからの皆さん

の創作活動のステップとして大きな意義を持つだけでなく、広く写真文化の発展にも寄与することになります。

また今回からは、東京工芸大学同窓会より協賛を頂き、奨励金の総額を増額するとともに、技術にとらわれない新たな写真表現を対象とした奨励賞を設けることとなりました。

フォックス・タルボット賞は、東京工芸大学の全ての学部、学科、専攻の学生と卒業生にチャンスがあります。皆さんの創造力と独創性に溢れた多くの作品が応募されることを心より期待しています。

東京工芸大学  
学長 吉野 弘章

## 1.賞

- 第一席 賞状・楯並びに奨励金50万円 1名
- 第二席 賞状・楯並びに奨励金20万円 1名
- 第三席 賞状・楯並びに奨励金10万円 1名
- モノクロ賞 賞状・楯並びに奨励金10万円 1名
- 佳作 賞状・楯並びに奨励金3万円 5名以内
- ※奨励賞 賞状・楯並びに奨励金7万円 1名

※写真を用いた新たな表現にチャレンジした作品を対象とします。

## 2.審査委員

田沼 武能 細江 英公 中谷 吉隆 立木 義浩 小林 紀晴

**3.入賞発表** 2022年1月末、本学中野キャンパス・厚木キャンパスの掲示板に発表します。尚、入賞者には直接通知します。

**4.表彰** 表彰式は2022年3月5日(土)に本学「写大ギャラリー」で行う予定です。ただし、社会状況によっては中止する場合があります。

**5.写真展** 2022フォックス・タルボット賞写真展は2022年2月28日(月)より3月26日(土)まで本学「写大ギャラリー」で開催する予定です。

**6.コレクション** 入賞作品は「写大ギャラリー・コレクション」としてパーマメントコレクションの対象とします。尚、写真展及びパーマメントコレクションの作品については、再プリントを要請する場合がありますので予めご了承願います。

**7.作品の使用権** 著作権は作者に帰属しますが、入賞作品の優先使用権は本学が保有します。

## ◎応募資格

- ①東京工芸大学(芸術学部・工学部)、東京工芸大学大学院(芸術学研究科・工学研究科)に在籍する学生及び研究生
  - ②東京工芸大学(芸術学部・工学部)、東京工芸大学大学院(芸術学研究科・工学研究科)を卒業又は修了して10年以内(※)の者
- ※2011年3月以降の卒業又は修了

◎応募期日 2021年12月20日(月)～2022年1月25日(火)

◎応募作品 写真作品で未発表のものに限ります。

◎テーマ 自由

◎作品形式 単写真、組写真あるいは複数枚による作品。ただし、1作品

につき30枚以内とします。尚、作品応募数に制限はありません。

◎作品サイズ カラー、モノクローム共にプリントサイズ8×10インチ(六切)～11×14インチ(大四切)もしくはA4～A3サイズ(A3ノビは不可)を使用したプリントで応募して下さい。

## ◎応募方法

- ①1作品が複数枚で作品に順序が必要な場合は、写真表面にキズのつかない方法で、裏面に番号を記して下さい。
- ②所定の「応募票」「作品票」に必要事項を記入して下さい。
- ③写真サイズに見合う適当な封筒に1作品単位で写真を入れ、応募票と作品票を同封して下さい。尚、作品を複数応募する人は応募票を作品〔A〕の封筒に入れて下さい。
- ④作品単位の封筒それぞれに氏名及び作品タイトルを記入して下さい。(在学生は学部・学科・学年も記入して下さい)

## ◎応募上の注意

- ①応募作品は変色・写真の折れ・スポッティング・カッティング等 仕上げに充分注意して下さい。(画面外余白を残して下さい)
- ②作品を郵送する場合は、写真が折れないよう厚紙でカバーし、出来るだけ書留で送って下さい。
- ③必ず本人が応募して下さい。代理人による応募は受付できません。

## ◎応募受付

- ①本人持参 受付時間：月～土10:00～16:30/受付場所：中野キャンパス庶務課(ただし、12月25日(土)～1月5日(水)及び1月14日(金)・15日(土)の窓口受付は行いません。)
- ②郵送 下記フォックス・タルボット賞委員会へ(応募日切日 必着)

## ◎作品の返却

受賞作品以外は希望により2月上旬以降返却します。在学生の作品は各所属部署を通じて返却します。4年生・卒業生には宅配便にて返却しますので、返却希望者は「返却希望」の欄に〇印をお願いいたします。

## ◎問い合わせ先

東京工芸大学芸術学部 フォックス・タルボット賞委員会  
〒164-8678 東京都中野区本町 2-9-5  
E-mail: ft@office.t-kougei.ac.jp

※応募票・作品票は大学ホームページよりダウンロードできます。

# 展示会・出版の記録



**展**: 牧野智晃 個展「まちをたぐる」  
**作**: 牧野智晃(写真学科77期)  
**所**: KANA KAWANISHI PHOTO GRAPHY  
**期**: 2021.4.24-5.29



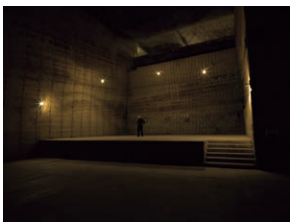
**展**: 小島三幸写真展「at home」  
**作**: 小島三幸(写真学科78期)  
**所**: RED Photo gallery  
**期**: 2021.5.10-5.23



**展**: 第23回写真「1\_WALL」展  
**作**: 長谷川愛実(写真学科91期)  
**所**: ガーディアン・ガーデン  
**期**: 2021.5.18-6.19



**展**: 影山あやの作品展「DEAR EMOTION」  
 東京写真月間「変わりゆく<2020年代の写真>-若い世代が考える写真の表現-」  
**作**: 影山あやの(写真学科89期)  
**所**: ソニーイメージングギャラリー銀座  
**期**: 2021.6.1-6.17



**展**: 渡辺一城写真展「Buena Vista」  
**作**: 渡辺一城(写真学科77期)  
**所**: JCII クラブ25  
**期**: 2021.6.1-6.6



**展**: 内藤明写真展「rays」  
**作**: 内藤明(写真技術科47期)  
**所**: JCII クラブ25  
**期**: 2021.6.1-6.6



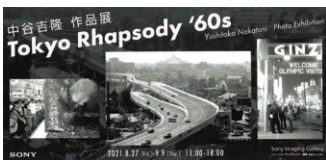
**展**: 写真展「写真の中の東京は、」  
 写大ギャラリー・コレクションより  
**作**:  
**所**: 写大ギャラリー  
**期**: 2021.6.14-9.4



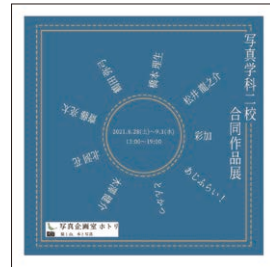
**展**: 池田陽子遺作展「魅せられて」  
 人形浄瑠璃文楽  
**作**: 池田陽子(写真技術科39期)  
**所**: ボートレートギャラリー  
**期**: 2021.7.1-7.7



**展**: 小林紀晴写真展「深い沈黙」  
**作**: 小林紀晴(写真技術科63期)  
**所**: ニコンプラザ東京 THE GALLERY  
**期**: 2021.7.20-8.16



**展**: 中谷吉隆作品展「Tokyo Rhapsody '60s」  
**作**: 中谷吉隆(写真技術科32期)  
**所**: ソニーイメージングギャラリー銀座  
**期**: 2021.8.27-9.9



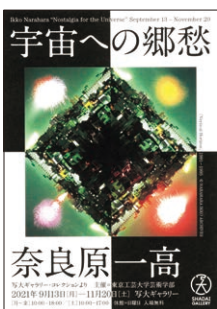
**展**: 写真学科二校合同作品展  
**作**: 齋藤亮太・木澤健介・北洞花・大矢彩加・鶴田弥弓(写真学科2年生)  
**所**: 写真企画室ホトリ  
**期**: 2021.8.28-9.1



**展**: 東京工芸大学写真学科「パラिताファインプリントゼミ展」  
**作**: 大島ルアナ・愛・欠端カンナ・梶湧希・後藤海平・齋藤千穂・SHAYGYIRAN・CHICHAO・寺前瑞穂・縄田沙織・星子桃花・本多さやか・松下萌々子・水野明香・LIANGMINGJIE(写真学科3年生)  
**所**: Alt\_medium  
**期**: 2021.9.2-9.7



**展**: 小林紀晴写真展「On the Wall. After Sep 11, 2001」  
**作**: 小林紀晴(写真技術科63期)  
**所**: ギャラリー冬青  
**期**: 2021.9.3-9.25



**展**: 奈良原一高写真展「宇宙への郷愁」  
**作**: 奈良原一高  
**所**: 写大ギャラリー  
**期**: 2021.9.13-11.20



**展**: 葛谷舞子写真展「life ~笑顔のカケラ~」  
**作**: 葛谷舞子(写真学科75期)  
**所**: 富士フォトギャラリー銀座  
**期**: 2021.9.17-9.23



**展**: 桜井秀作品展「臨界の黙示」  
**作**: 桜井秀(34期写真技術科)  
**所**: JCII PHOTO SALON  
**期**: 2021.9.28-10.31



**展**: 中谷吉隆フォト俳句作品展「回り舞台」  
**作**: 中谷吉隆(写真技術科32期)  
**所**: リコイイメージングスクエア 東京  
**期**: 2021.9.30-10.11



**展**: 東京工芸大学 圓井研究室 写真展「いま、ここで、」  
**作**: 圓井義典(写真学科教授)・SONG XINYI・中西大翔・中野湧太・藤井春花(写真学科4年生)  
**所**: GALLERY KINGYO  
**期**: 2021.10.5-10.17







## 訃報

衷心よりお悔み申し上げます。

石 渡 保 (27期・写真技術科)	正 田 誠 一 (35期・写真技術科)
勝 田 稔 男 (28期・選科)	岡 野 泰 久 (35期・写真工業科)
渡 部 繁 (30期・写真技術科)	小 山 巖 (41期・写真技術科)
竹 須 毅 三 郎 (31期・写真技術科)	塚 島 正 洋 (42期・写真印刷科)
宮 坂 恵 夫 (32期・写真技術科)	(敬称略)

訃報は御親族の承諾を頂いた方のみ掲載させて頂いております。

## 教員の訃報

写真学科准教授 酒井 孝彦先生が8月25日に、デザイン学科教授 谷口 広樹先生が8月30日に、ご病気によりご逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表すとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。

## 掲載記事の募集

「ひろば」に掲載する記事を募集します。エピソードや同期会・クラス会(規模の大小は問いません)など、楽しい記事をお待ちしております。テキスト原稿・集合写真などを、メールもしくは郵送で同窓会事務局までお送り下さい。紙面編集の都合上、原稿は広報委員会で調整させて頂く場合がございます。予めご了承下さい。よろしく願い申し上げます。

## 編集後記

同窓生の皆様、初めまして。現在写真学科助手として工芸大学に勤めています90期卒業生の下込萌です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

芸術の秋ということで10月下旬に東京で行われた屋外型国際写真祭「T3 Photo Festival Tokyo 2021」のイベントの一つである「T3フォトマーケット」に写真学科の学生が参加していたので伺いました。国内外で活躍している作家、出版社、写真を学ぶ学生によるフォトマーケットで写真集やプリント作品を買うことができるものです。会場は大変賑わっていて、写真を通して楽しそうに人とコミュニケーションをとる学生の姿を見たことは、今写真でできること、を改めて考えるきっかけとなりました。

下込 萌(90期)